

## 努力事項解説 その7 (中学校音楽)

小・中学校9年間の目標及び内容の系統性を踏まえ、  
連続性を考慮し、各領域及び各分野がバランスよく  
配置された年間指導計画を作成しましょう。

### 小・中学校9年間の目標及び内容の系統性を踏まえ、連続性を考慮し、とは

これは、系統性を踏まえ、連続性を考慮することで、生徒が同じ程度の内容を重複して学習したり、いきなり難しい内容を学習したりすることをなくしましょうということです。

そのためには、中学校の音楽の先生が小学校の音楽科の学習指導要領の内容を理解しておくことはとても大切なことです。また、中学校に入学してくる子どもたちが、小学校6年間の音楽科の授業で、どのような内容を学習することになっているのかを理解した上で、入学してきた子どもたちの実態を考慮して指導計画を作成するようにしましょう。

たとえば、表現領域の歌唱の内容について、  
低学年では、

「範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること。」

中学年では、

「範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。」

高学年では、

「範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌うこと。」

とされ、視唱については「ハ長調とイ短調」のみを取り扱うようになっていますが、階名で模唱したり暗唱したり、範唱を聴いたりして歌う場合の調については記載がありません。ですから、臨時記号としてのシャープやフラットは理解していても、すべての調やその調号、その主音が何であるかなどは、必ずしも学習しているとは限りません。和音についても、I、IV、V、V<sub>7</sub>を学習することになっているだけで、これ以外の和音や機能和声の概念についての記載はありません。

一方、鑑賞領域の学習内容については、

低学年では、

「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気づくこと。」

中学年では、

「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。」

高学年では、

「楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。」

という内容があり、小学校低学年から、音楽科における言語活動を適切に行うことについての内容について記載されています。

中学校の音楽の先生は、自分の経験だけで「今年の入学生はこんなことができない。習っていない。」、また逆に、「こんな内容まで学習している。」などと判断せず、「小学校学習指導要領 第2章 第6節 音楽」の内容をよく読んだ上で、目標や内容の系統性、連続性を理解して、生徒が、既習の内容であれ、新たな内容であれ、無理なくスムーズに学習できるように指導計画を作成することが大切です。

## 各領域及び各分野がバランスよく配置された年間指導計画を作成しましょう。とは

各領域とは、「表現領域」、「鑑賞領域」の、2領域のことを言います。各分野とは、「表現領域」の、「歌唱分野」、「器楽分野」、「創作分野」の3分野のことを言います。

中学校学習指導要領第2章第5節音楽の第3指導計画の作成と内容の取り扱い1（2）には、

「A 表現」の(1)歌唱、(2)器楽、(3)創作、及び「B 鑑賞」の指導については、それぞれ特定の活動のみに偏らないようにすること。

とあり、さらに、中学校学習指導要領解説音楽編には

中学校における指導は、生徒の多様な実態を踏まえ、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、生徒の興味・関心を引き出し、学習への意欲を喚起することが大切である。そのためには、**歌唱や鑑賞のみに偏ったり、歌唱の指導について合唱活動に偏ったり鑑賞の指導について特定の曲種に偏ったりすることのないように留意して年間指導計画を作成しなければならない。**

指導計画の作成に当たっては、各活動を有機的かつ効果的に関連させることによって**教科及び学年の目標を実現していくように**、内容の構成や主題の設定、適切な教材の選択と配列などに配慮することが大切である。

とあります。

学習指導要領の考え方としては、「校内合唱コンクール」への取組によって生徒が歌い合わせることの喜びに目覚め、それに意欲的に取り組むようになることは、その目的や目標にかなっていると思われませんが、それによって音楽科の授業に偏りが生じることは好ましいことではありません。

上記の、中学校学習指導要領やその解説に記載してあるとおり、音楽科の教科としての目的や目標を達成することが大切です。現状として、目標を達成するには十分な時数が確保されているでしょうか。「器楽」、「創作」についても、「歌唱や合唱」の内容と関連させるなど工夫して指導を行い、偏りをなくし、音楽科の教科としての目的や目標を達成することができる年間指導計画を作成することが求められています。



今回は、小学校の努力事項『小・中学校9年間の目標及び内容の系統性を踏まえ、連続性を考慮し、各領域及び各分野がバランスよく配置された年間指導計画を作成しましょう。』について考えてみます。

12月6日（金）頃アップする予定です。